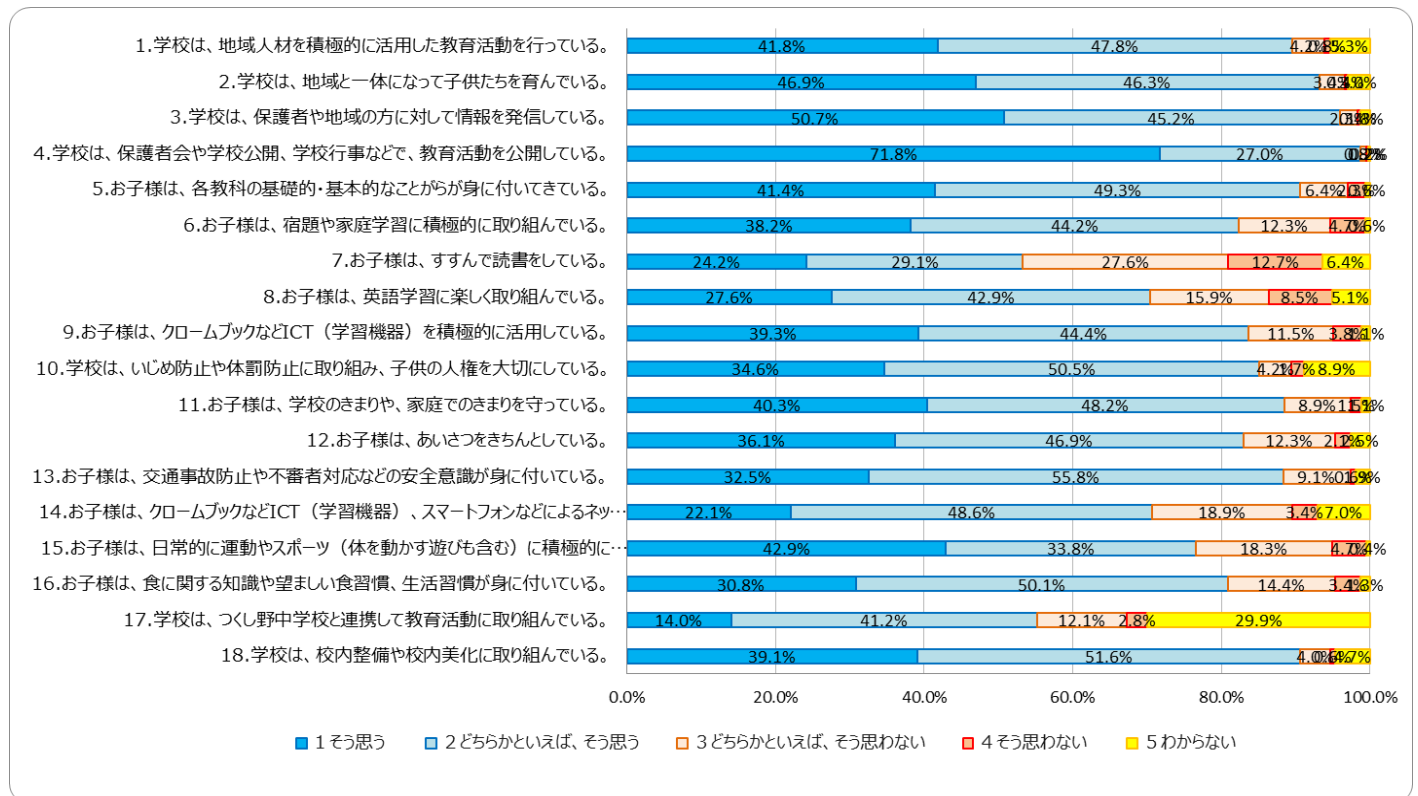


2024年度 学校評価 保護者・児童アンケート

2025年1月31日
町田市立鶴間小学校
校長 浦木 義尚

学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。以下に集計結果、ご質問、ご意見への回答を示させていただきました。1月24日（金）の学校運営協議会では、保護者の皆様からいただきましたアンケート、そして、児童・教職員のアンケート結果も参考にして、今年度の学校運営について協議いたしました。これらを生かして、現在、次年度の計画の改善を図っているところです。なお、コメント欄への記載内容につきましては、ご要望に関するものだけ掲載いただきましたが、実はご要望の何倍もの学校への感謝の気持ちなどの温かいお言葉を頂戴しております。こうした数々の温かいお言葉は大変励みになり、報われた思いがいたしました。本当にありがとうございました。

1. 保護者アンケート「本校の取組について」（集計結果）



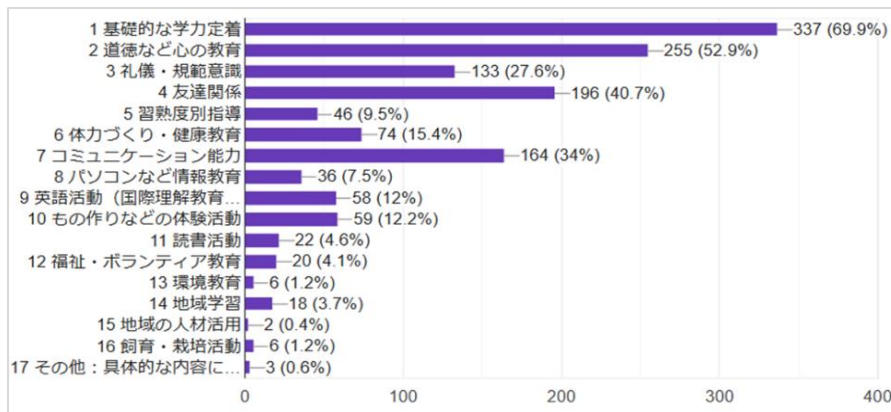
[1. 本校の取り組みについて]

肯定的な回答（A+B）の割合が85%以上の項目は、設問1,2,3,4,5,10,11,13,18の9項目で昨年度とより2項目増えました。本校の取り組みに、保護者の方や地域の方から多くのご理解ご協力をいただいていることが分かります。来年度も、ご理解とご協力をいただけるように学校の取り組み、子供たちの活動の様子を配信してまいります。

昨年度に続き、「7. お子様はすすんで読書をしている」の項目が53.3%（昨年度比+5.8）と高まったものの低い数字となっております。児童アンケート「5. 進んで読書をしている。」では74.6%と、保護者の方と児童とで差があることが分かりました。学校では、朝読書や隙間の時間などで読書をしているが、家庭では読書をする時間の確保が難しいということが考えられます。読書旬間の取り組みをはじめとした読書活動の推進を一層図ってまいります。

「17. つくし野中との連携」については、「わからない」が昨年度（40.2%）より減ったものの29.9%と割合が高くなっており、今年度は、ふれあいコンサートで、5年生と中学生が合唱・合奏を披露しあったりしました。6年生は中学校体験に行き、中学生に向けて気持ちを高めることができました。また、つくし野中学校区の教員が本校に集まり授業を見せて情報交換などを行っております。来年度、このような取り組みを随時発信していけるよう努めてまいります。

2. 保護者アンケート「本校に期待する教育活動」（集計結果）



[2. 本校に期待する教育活動について]

「基礎的な学力の定着」では、日常の授業、家庭学習、キュビナの活用などで読み・書き・計算といわれるような基礎の定着を図ります。

また、[心の教育]については、道徳の授業はもちろん、あらゆる授業、生活の中で育ててまいります。

3. 保護者アンケートのコメント欄へのご意見、感想より

(1) 個人面談について

- ①きょうだいで続いた時間に組まれたため5分程度となったとのご意見がありましたので、そうならないように改善します。調整が困難な場合は事前に相談いたします。
- ②面談時期を1学期の中ごろにとのご意見をいただきました。以前は1学期初めに実施しておりましたが、あゆみのご説明と授業時数の確保を考慮して夏季休業日中に変更したという経緯があります。必要な際には随時個別にご相談ください。
- ③対面かオンラインかを選べるとよいとのご意見をいただきました。オンラインでの面談については検討いたしますが、対面のほうがより伝わるものだと思いますので基本は対面にさせていただければと思います。

(2) 体操服の下に下着を着てはならないルールの見直しについて

- すでに下着は着用してかまいませんとしています。ただし、寒さ対策で着用する場合は、運動中暑くなったら脱ぐことができるようにタイツや長袖Tシャツを体操服の下に着るのではなく、体操服の上に着るものをお願いしています。

(3) 連絡について ①アプリで宿題が何か見れるように ②クラスルームに連絡事項を掲載するのが遅い時がある

③翌月の予定をも早く知らせてほしい ④テトルだと見落とすことがある。大事なことはプリントで渡してほしい。

- ①②「クラスルーム」アプリを活用している学級では翌日の予定や宿題も「クラスルーム」に掲載している場合がありますので「クラスルーム」で見られるクラスもあります。「クラスルーム」の活用は学年や学級によって異なりますので、それぞれの担任にご相談いただければと思います。掲載時刻につきましては、遅くならないよう留意します。
- ③④翌月のスケジュールのお知らせは、学校だよりの作成作業が現在でも精一杯となっていますのでこれ以上早いタイミングで知りたい場合は年度当初配布の年間予定表をご覧くださいか、学校まで問い合わせただけかかお願いいたします。また、保護者へのお便りは、今後もTetoruでのお知らせを基本としますが、必要性に応じて紙面配布も行うようにいたします。

(4) 安全について ①正門のセキュリティー ②不審者情報を流す際の家庭への依頼内容について

③ピンクコースの歩道橋を降りたあたりが暗いことについて

- ①正門については、現状の設備で、常時正門を施錠すると来校者への対応で業務に支障をきたすため、防犯カメラにて極力来校者を把握するようにしています。市でも検討をしているようです。
- ②不審者情報をお伝えする場合は、各ご家庭にご留意していただきたいことを添えるようにいたします。
- ③ピンクコースの件につきましては、どのような対応ができるか検討いたします。これに限らず、通学路の危険箇所につきましては随時情報をお寄せいただければと思います。毎年の通学路点検で改善要望を市に提出したり、児童への指導をしたりするなど、できることを行ってまいります。

(5) 公開について 参観できる場をもう少し増やしてほしい

→教員の負担等を考慮すると学校全体での公開の回数は現状が適切ではないかと考えております。これとは別に、学年独自の発表会などを今年度も実施している学年があります。今後も、学年や学級ごとに参観や学習ボランティアとしてお招きする機会、学習効果等を考慮して設けるようにします。

(6) ICTについて ①使用開始学年は3年ぐらいから ②視力の低下が心配 ③クロムブックの使い方・ルールについて

→クロムブックでの学習は1日1時間までと指導しています。また、学習以外には使わないというのがルールです。次年度にも、学校でも使い方の指導をしますが、ご家庭にもお知らせします。お子さんがどうしてもルールを守らない場合はクロムブックを使わず、学校までお知らせください。また、全学年で活用することが市の方針でもありますので1年生から活用させていただきます。

(7) 行事について 以前のように戻してほしい

→教員の働き方改革の観点からだと思いますが、教育委員会から授業時数、行事時数を最小限にするよう指導されており、行事についてはさらに減らすことを求められている状況でもあり、元に戻すことは現実的に不可能だと考えます。劇の発表がないのが残念とのご意見もいただきましたが、劇の準備、練習には同様に多くの時間を要することから困難です。

(8) その他 ①成績のつけ方 ②教科担任制の効果について ③英語に触れる機会が増えるといい ④図書の充実について

⑤相談の機会について ⑥学級代表者会などの委託について ⑦まちともについて

→①成績のつけ方については、学校で決めた基準に沿ってつけていますので次年度、再度、お知らせいたします。

→②教科担任制の効果については、比較が難しいためテストの平均点などではお示しできませんが、5、6年生に4月と10月にとったアンケートでは、10月の方が「勉強がわかるようになった」「好きになった」と回答している児童の割合が多くなっているという結果が出ています。

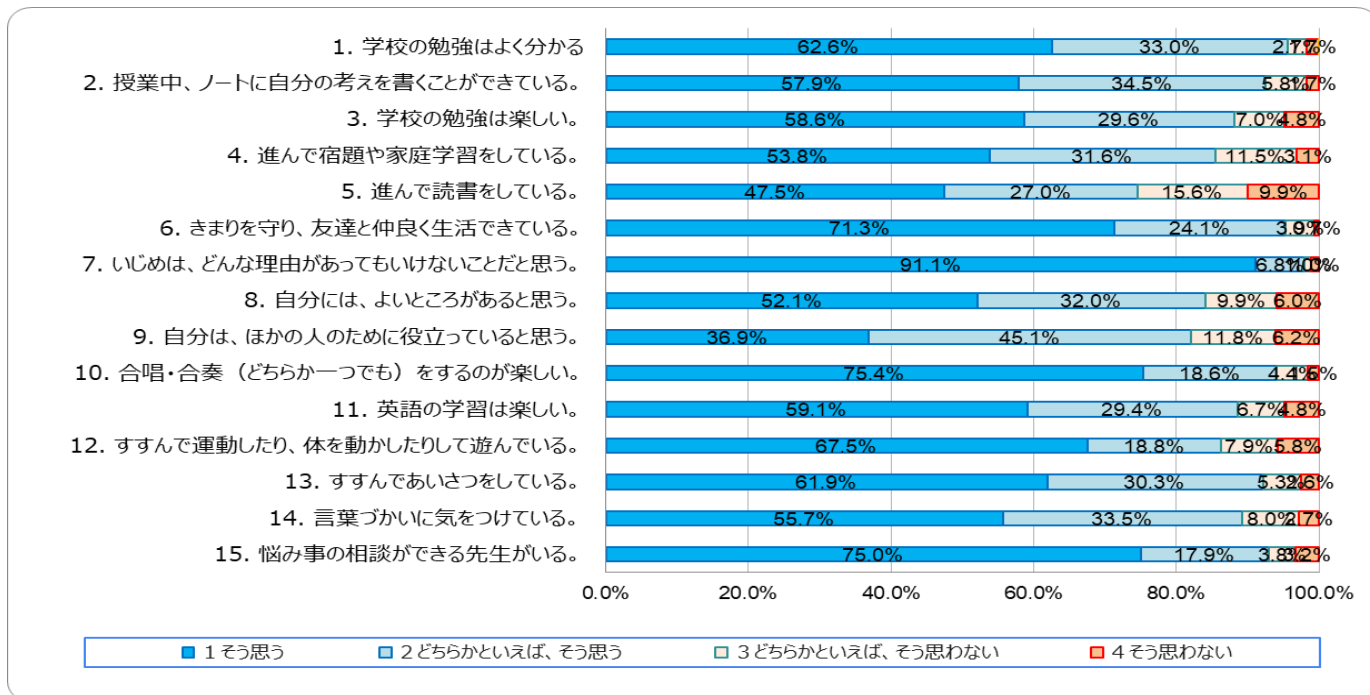
→③掲示物などで英語に触れる機会の増加、④図書の充実については、両方とも改善を図ります。

→⑤相談の機会については、S Cに相談したいタイミングと勤務日が合わない、先生や友達にも言えないことがあるのでさりげなく話せる場があるとよいとのご意見をいただいています。S Cとの相談日については、どうしても勤務日を増やすことはできませんので思いついたときにすぐに予約をしていただくか、ほかの教職員にご相談いただければと思います。また、相談先としても教科担任や副担任もご活用いただければと思います。

→⑥学級代表者会や安全委員会の業者への委託につきましては、学級代表者会、安全委員会に相談させていただきます。

→⑦まちともについては、雨天時も体育館で過ごせるように、現在その方向で検討を進めているところです。

4. 児童アンケート（集計結果）



[児童アンケートについて]

どの項目も肯定的な回答の割合が高い結果となりました。特に、「10.合唱・合奏」（昨年度比+5.2）、「11.英語」（昨年度比+5.6）、「15.悩みごとの相談できる先生がいる」（昨年度比+9）は、いずれも5ポイント以上向上しており、指導や対応の改善努力が伝わってきたものと思われます。来年度も子供たちが楽しみながらも学力が向上できるよう、教材の研究を行ったり、学年間で情報を共有したりするなどの取り組みを行ってまいります。

一方で昨年度より数値が下がった項目があります。「5.進んで読書している」（昨年度比-4.1）、「14.言葉づかい」（昨年度比-2.7）等、肯定的な回答の割合が高いものの昨年度より数値が下がった項目があります。特に、読書については、保護者アンケートでも他の項目に比べて低い結果が出ており、一層の啓発活動の充実が必要だと考えています。読書の習慣化は一生の宝となるものです。子供たちが読書の楽しさに気づくことができるよう、読書週間の工夫や蔵書の充実、隙間時間の読書の推奨などに学校では取り組んでまいりますので、ぜひ、ご家庭でも一緒に本に触れる時間を設けるなどしていただけると幸いです。